



八条コミュニティの皆さん(前列右が宮村さん)

## サギ、カモ、コウノトリなども飛来！ 地域住民による手作りビオトープ

宮村吉一さん(71歳)九日市上町



「耕作放棄地の雑草を刈らせてもらえませんか」。一昨年の10月、この言葉を発端に「ビオトープ八条」作りが始まったと話す同代表の宮村吉一さん。「背丈以上もある雑草に覆われた寂寥の地が、今は地域のにぎわいの場になった」と笑顔で話します。

たことは「今後、毎年草を刈るだけでは」。そして、市の協力も得てビオトープ作りへ。昨年4月に水を入れ、今では、カエルやドジョウなど、多くの生きものに出会えます。コウノトリも餌を求めてやって来るようになりました。

# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲満開のヒマワリ畑

## たんとうひまわりまつり 咲き誇る40万本のヒマワリ

8月9～16日、たんとう花公園(但東町畑山)で、2017たんとうひまわりまつりが開催され、咲き誇る約40万本のヒマワリが多くの人を魅了しました。持ち帰りやすくするために、やや小ぶりになるように植えられたロシアヒマワリ。台風5号の影響で約10万本が倒れましたが、小ぶりだったことが幸いし、大きな被害を免れました。隣接するホワイトコーンのもぎ取り園では、生で食べても甘くておいしいトウモロコシに、子どもたちは驚きながら、かぶりついていました。帰省途中に家族と立ち寄った赤松幸三さん(堺市)は「持ち帰りできることがありがたい。きれいなので、お墓に飾りたい」と話していました。

## 少年少女キックベースボール大会 児童の全カプレーに大きな声援

7月30日、植村直己記念スポーツ公園多目的グラウンドで、第23回少年少女キックベースボール大会が開催され、照りつける夏の太陽の下、約250人の児童が熱戦を繰り広げました。大会には日高地域の小学4～6年生を中心に男子14チーム、女子9チームが参加。夏休みに入り、保護者らと練習を重ねてきたチームが多く、児童の思い切りの良いキックやベースランニングに観客からは大きな声援が送られました。日高シャーク団(宵田・岩中・浅倉区)でピッチャーの林 康平君(日高小6年)は「夏休みの楽しみにしていた。練習の成果が発揮でき、スピードも出た」と仲間との思い出に満足そうでした。



▲仲間の声援を背に思いっきりキック